

行政視察等報告書

令和6年8月30日

境港市議会
議長 永井 章 様

会派名 自由未来
代表者 荒井 秀行

下記のとおり行政視察（調査・研修）、陳情活動を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	令和6年8月19日（月）
2 視 察 等 先 及 び 内 容	内閣府別館（千代田区永田町） 国土交通省（千代田区霞が関） 防衛省（新宿区市谷本村町） 衆議院第二議員会館（千代田区永田町） 参議院会館（千代田区永田町） 境港における特定利用空港・港湾の早期指定による機能強化に関する 要望活動
3 視察等議員	境港・米子市議会防衛議員連盟 荒井秀行、加藤文治、松本晶彦、吉井 巧
4 総 経 費	合計284,370円 (一人当たり71,092円)※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所 見 等	別紙のとおり

視察先対応者：

内閣官房国家安全保障局 内閣審議官 室田 幸靖 氏
国土交通省 技監 廣瀬 昌由 氏
防衛省 防衛政策局長 大和 太郎 氏
石破 茂 衆議院議員
赤澤 亮正 衆議院議員
青木 一彦 参議院議員
舞立 昇治 参議院議員秘書
藤井 一博 参議院議員秘書
佐藤 正久 参議院議員秘書

内 容：

要件

境港における特定利用空港・港湾の早期指定による機能強化に関する要望活動
鳥取県議会防衛議員連盟及び境港市議会・米子市議会防衛議員連盟

要 望 活 動 日 程

令和6年8月19日（月）

7:25 発

8:45 着

米子空港(ANA382) → 羽田空港 → タクシー移動（とっとり・おかやま新橋館経由）

11:00～11:30

○内閣府別館（千代田区永田町）

内閣官房国家安全保障局 内閣審議官 室田 幸靖 氏

13:00～13:45

○参議院会館（千代田区永田町）

- ・舞立 昇治 参議院議員 603 号室
- ・藤井 一博 参議院議員 605 号室
- ・佐藤 正久 参議院議員 705 号室
- ・青木 一彦 参議院議員 814 号室

14:00～14:15

○中央合同庁舎 3 号館 4 階技監室（千代田区霞が関）

国土交通省 技監 廣瀬 昌由 氏

14:45～15:30

○衆議院第二議員会館（千代田区永田町）

14:45～15:00

- ・石破 茂 衆議院議員 515 号室

15:15～15:30

・赤澤 亮正 衆議院議員 1022 号室

16:00～16:15

○防衛省庁舎 A 棟（新宿区市谷本村町）

防衛省 防衛政策局長 大和 太郎 氏

20:05 発

21:25 着

タクシー移動 → 羽田空港(ANA389) → 米子空港

所 感：(吉井 巧)

記

近年、我が国周辺では中国、北朝鮮、ロシアが軍事力を増強しつつミサイル発射や軍事的示威活動を急速に拡大活発化させ、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している。また、日本海では外国漁船による違法操業や日本漁船の拿捕の脅威がある。

さらに、近年は地球温暖化に伴う自然災害の頻発化や激甚化が起きており、昨年 8 月の台風第 7 号では県内に甚大な被害をもたらした。本年 1 月に能登半島地震が発生するなど、日本列島は地震活動期に入り、死者 3 2 万人と想定される南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくない状況にある。加えて、島根原子力発電所の再稼動も迫り、大規模災害を含む各種事態への備えは喫緊の課題である。

こうした現状を踏まえ、国会並びに政府に対し、境港の特定利用空港・港湾指定を早期に行い、大規模な災害や安全保障環境を踏まえた対応を実効的に行うため自衛隊・海上保安庁の艦船が平時から運用や訓練等に円滑に利用できるように、大型艦船の円滑かつ安全な入港や輸送能力向上の整備や機能を強化することを要望する。

以上

境港・米子市議会防衛議員連盟として、鳥取県議会防衛議員連盟と共に各訪問先で要望活動を行い、上記の内容をご理解いただき前向きに検討していくとの回答を頂いた。